

事故周知・再発防止〔令和 5 年度発生事例〕

災害の種類	物損事故	工事区分	建築改修工事
事故内容	埋設配管と研り工具の接触による物損事故	被災者	性別・年齢 —
被災状況	埋設配管の破損	職業	—

〔災害の概要〕

現場の状況：
既存建具撤去後の建具周り研り作業中

事故の概要：令和(5)年(10)月(3)日(火曜日)PM:0:00頃
 ●●棟のアルミ建具(AW-20)改修箇所で、既存建具撤去後の建具周りの詰めモルタル及び外壁駆体アゴ部分の研り作業中に、階段室照明の埋設電気配管に接触し漏電したため、ブレーカーが落ち、●●棟内の照明で約3時間、階段室灯で約5時間停電した。
 (●●への影響なし。)

安全対策の有無：有

- ・月に一度の安全協議会を行っていた。
- ・朝礼後に新規入場者教育を行い、安全作業の徹底を指導していた。
- ・作業前のKY活動において当日作業の作業工程・安全対策について話し合っていた。

〔再発防止策〕

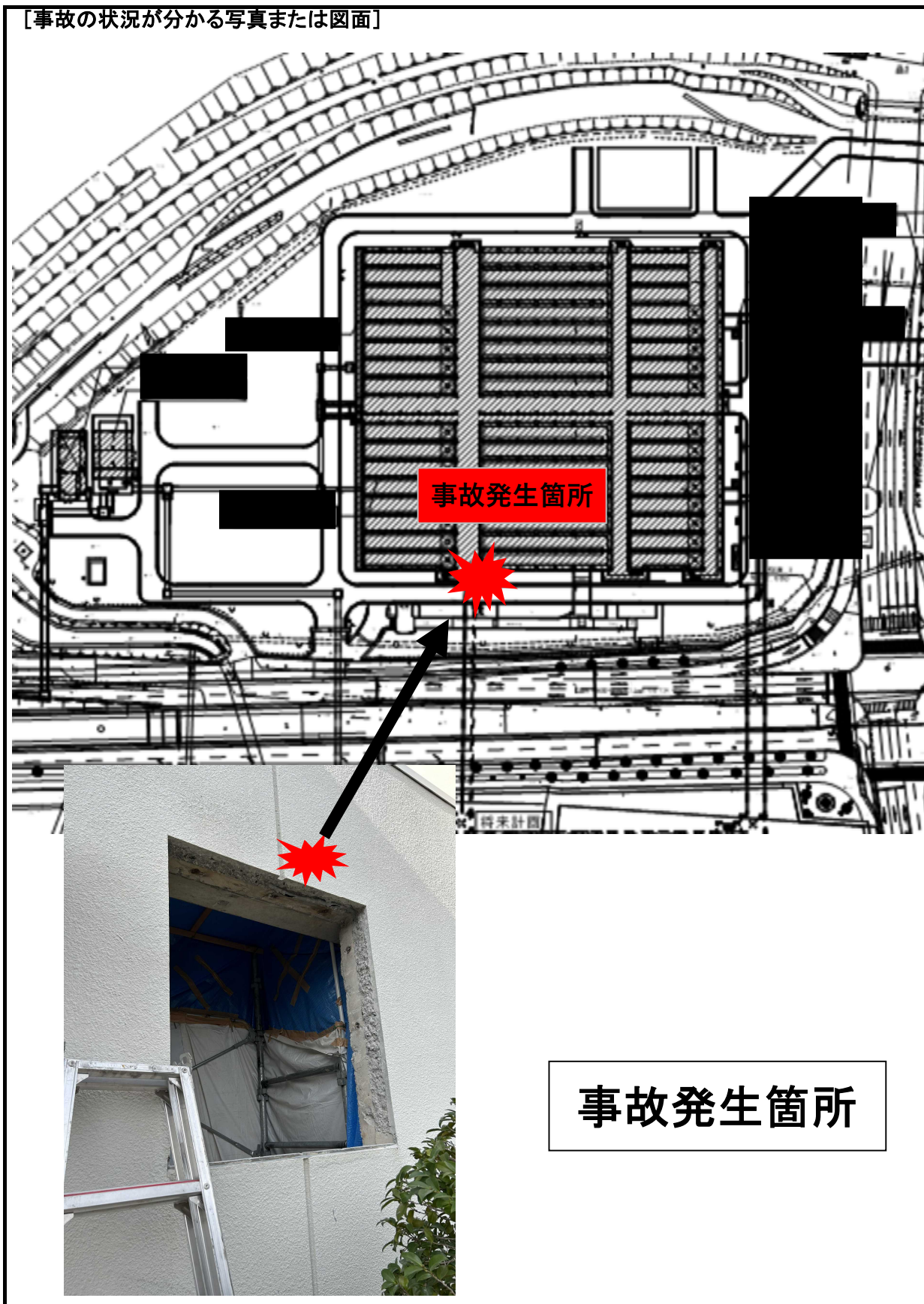
問題点：地下埋設物等の事故防止対策要領に基づく対応及び監督員への連絡・確認を怠った。

- ①事前確認として、既存電気図面を確認していなかった。
- ②通常電気配管が通っていない箇所であることから、配管はないものと決め込み、事前調査を怠った。
- ③事前確認及び調査結果を踏まえた事故防止対策を施工計画書に記載をしていなかった。

防止対策：地下埋設物等の事故防止対策要領に基づく対応を徹底するとともに、監督員との連絡・確認を確実にを行う

- ①事前確認として既存図面の確認を徹底する。
- ②想定外の位置への埋設配管の敷設を前提とした事前調査を行う。
- ③事前調査の結果、埋設配管が不明確な場合は、監督員と協議し、探査機などにより確認等を行うこととし、事故防止対策を施工計画書へ追記する。

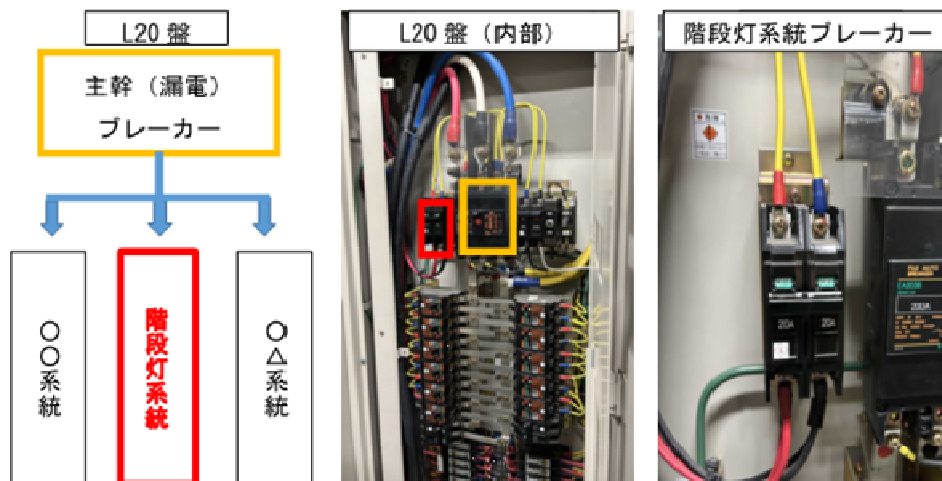
[事故の状況が分かる写真または図面]



[事故の状況が分かる写真または図面]

<概要>

はつり作業中に、階段灯系統の配線を損傷しとことにより地絡（漏電）が発生し、主幹の漏電ブレーカーが飛んだ（トリップした。）ことで、施設の照明が停電した。



<損傷箇所>



<損傷箇所>



事故周知・再発防止〔令和 5 年度発生事例〕

〔再発防止対策〕

施工計画書へ追記(抜粋)

10 埋設配管などへの事故防止対策について

本改修工事は、既存建具の耐水化対策工事であり、既存建具周りの解体作業及び新設建具設置等によるアンカー施工があるため、建物駆体の埋設配管への損傷などにより、施設の通常業務の支障とならないよう、地下埋設物等の事故防止対策要領（建築・設備）に基づき対応する。

1 事前準備

既存完成図・施工図等により、地下埋設物等の状況について確認する。

2 事前調査

実際に掘削若しくは穿孔作業を行う位置での地下埋設物等の調査を行う。地下埋設物等の位置が不明確な場合は、探査機により調査を実施する。

調査結果は監督員に報告し、監督員の確認を得る。

3 近接作業の実施

近接作業前に再度地下埋設物等の位置を確認し、慎重に作業を進める。

作業結果を監督員に報告する。

事故周知・再発防止〔令和 5 年度発生事例〕

[再発防止対策]

・ 工事事故の緊急安全大会の実施 ※元請のみ

建築部で事故の原因の解明と再発防止対策を検討し、安全教育を実施した。

実施日時 令和5年10月6日（金） 11時00分～

事故再発防止周知会

1. 事故発生状況報告
2. 事故発生の原因調査と再発防止対策
 - ・ 発生要因の解明
 - ・ 再発防止対策の検討
3. 再発防止対策の周知
 - ・ 当該協力業者への周知徹底
 - ・ 当社施工中の工事現場への周知

[再発防止対策]

・ **工事事故の再発防止周知会の実施** ※元請と下請業者

元請業者及び下請け業者にて事故の原因の解明と再発防止対策を検討し、安全教育を実施した。

実施日時 令和5年10月5日（木） 13時30分～

事故再発防止周知会

1. 事故発生状況報告
2. 事故発生の原因調査と再発防止対策
 - ・ 発生要因の解明
 - ・ 再発防止対策の検討
3. 再発防止対策の周知
 - ・ 当該協力業者への周知徹底
 - ・ 当社施工中の工事現場への周知

参加者 計 11名（元請、下請業者）